

新刊案内

電子版(令和8年9月)・紙版(令和8年10月)

道路橋示方書の運用に関する 参考資料 設計の手引

電子版	定価	3,960円(税込)	令和8年9月発売予定
紙版	定価	4,290円(税込)	令和8年10月発売予定

本書の概要

2025 年(令和 7 年)に「橋、高架の道路等の技術基準(国土交通省 都市局長、道路局長通知、令和 7 年 8 月)」が改定されたのに合わせて、(公社)日本道路協会では、これに解説を付した「道路橋示方書・同解説 I～V(令和 7 年 10 月)」を刊行しました。

今回の主な改定点として、①多様な構造形式の道路橋に対して、できるだけ基準が求める要求性能及びそれを満足するとみなせる条件が明確となるように耐荷性能に関する規定の充実が図られたこと、②今後の技術開発の進展を見据えるとともに、耐久性能の信頼性が明確な道路橋の実現に寄与するために耐久性能に関する規定が見直されたこと、③令和 6 年の能登半島地震を含む近年の地震被害や被災後の対応の経験を踏まえて所要の性能が得られることの確実性や被災後の道路機能の確保や復旧性に関わる規定の充実が図られたことの 3 点が挙げられます。

このように規定の充実が図られた、道路橋示方書の運用にあたっては、規定される条項が正しく解釈され、それらが設計に的確に反映されることが重要です。そして、多岐にわたる考慮すべき事項や判断すべき事項の全てが吟味され、設計に適切に反映されていることを事後に証明できるようにしておくことは、設計の妥当性を示す上で不可欠です。

そこで、2025 年(令和 7 年)の道路橋示方書・同解説(以下、道示)の適切な運用を支援するために、道示を適用した設計の実施に際して、道示の規定を満足させるうえで必要な検討が網羅されたことを示すために、「どのような情報が設計成果として記録に残されなければならないか」という観点で、残されるべき情報や項目についてとりまとめ、「道路橋示方書の運用に関する参考資料 設計の手引」として刊行する運びとなりました。

本手引が適切に活用され、道路橋示方書の適切な運用が図られることを期待します。

電子図書版

道路橋示方書の運用に関する参考資料 設計の手引

令和 8 年 9 月



電子版 (イメージ)

道路橋示方書の運用に関する参考資料 設計の手引

令和 8 年 9 月

公益社団法人 日本道路協会

紙版 (イメージ)

【発行】公益社団法人 日本道路協会 〒100-8955 東京都千代田区霞が関 3-3-1

お問合せ: TEL 03-3581-2211 FAX 03-3581-2232

【発売】電子版 公益社団法人 日本道路協会ホームページ(<https://e-book.road.or.jp>)から

紙版 丸善出版株式会社ホームページ(<https://www.maruzen-publishing.co.jp>)

* 紙版のご注文は最寄りの書店からお願いします。

